

## ～ 会派の活動を報告します ～

### 政友会

当会派は、6月8日、会派勉強会を開催しました。講師に「助産院みち」の遠藤美千恵氏を迎え、「デジタル時代における子育ての現状と開業助産師による支援」をテーマに講話をいただきました。また、今回は晃陽栄養専門学校助産学科の先生方にも出席いただき、子育て支援の取

り組みについて勉強しました。

子育て家庭を取り巻く環境は大きく変化し、核家族化や人間関係・地域社会関係の希薄化により、社会全体において子育て力が低下しております。そういったことも少子化の一因にもなっているのではないかと考えています。

政友会では、行政、助産所を含めた専門機関、市民が連携し、安心して出産・子育てができる

環境づくりを推進していきます。



会派勉強会の様子

渡邊 澄夫 佐藤 泉  
大島 信夫 鈴木 務  
小森谷博之 鈴木 隆

### 古河市公明党

古河市公明党は5月21日、業務の効率化や職員の負担軽減などを目指し導入した、紙の申請書を電子化する「A I - O C R」（人工知能による文字認識）と入力作業を自動化する「R P A」（パソコン自動処理）について、担当部局との意見交換を行った。市は2月より両システムの運用

を6課7業務で開始し、作業時間の65%減などの効果が得られた。また、4月に設置された遺族の行政手続きを市役所内1カ所で受け付ける「おくやみサポートコーナー」について、担当部局との意見交換を行った。市の担当者があらかじめ関係課と連携し、市で対応する手続きを1カ所で行うことができる。上記の2事業は、定例会一般質問や予算要望などで当会派がこ

れまで一貫して推進してきたもので、古河市公明党は今後も、住み良い街づくりを目指し全力で取り組んでまいります。



サポートコーナーで説明を受ける古河市公明党

### 真政会

新型コロナウイルス感染症が発生してから1年以上が経過したが、依然として終息が見通せない。ワクチン接種が終息への道筋となるよう期待する。

市の財政状況はコロナ禍の中で大変厳しいが、市民の負託に応える施策を実現していかなくてはならない。最大の懸案事項

は新市建設計画の実現である。合併から、はや15年、その結果が求められている。先導的プロジェクトの「(仮)南古河駅の設置」「筑西幹線道路の整備」「各交流拠点の整備」をいかに実現するかが、議会ならびに執行部に課せられた最重要課題である。

当会派は先般この問題を含め「未来産業基盤強化プロジェクト」「住友商事とのまちづくり構想」等々、そして第2次総

合計画の実施状況および進捗状況について、市長ならびに副市長とつづさに意見交換し、「華のある都市(まち)古河」の実現について協議した。



執行部との意見交換